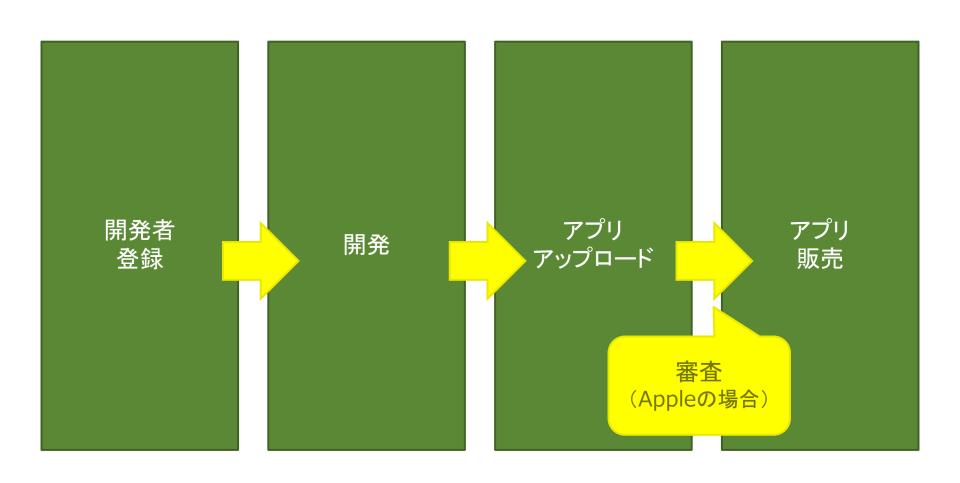
スマホアプリ開発塾入門編(1)アプリ公開までの流れ

株式会社アルトテラス 株式会社シグレスト

アプリ公開までの流れ

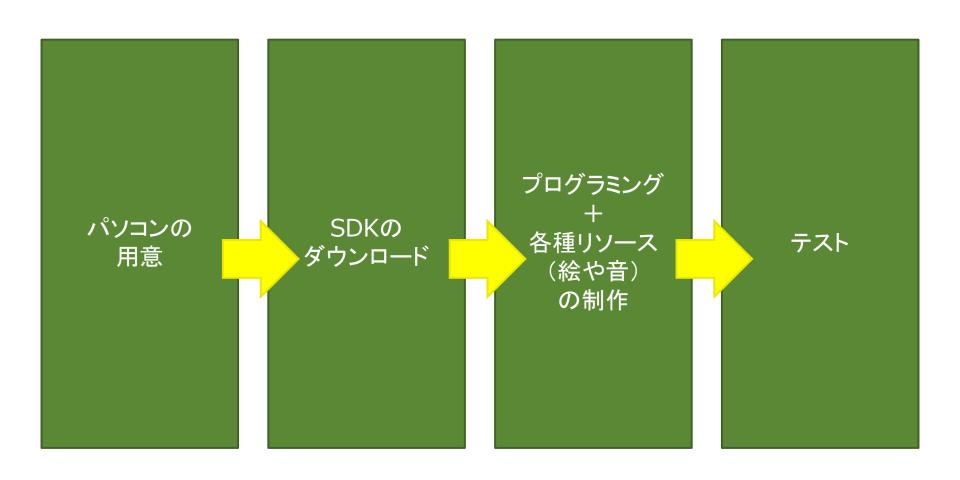


開発者登録

- Apple, Google などのプラットフォームベンダのサイト にアプリ開発者及びアプリ販売者として登録を行う
- ▶ アプリのアップロードと販売が可能に
- ▶ iOS Dev Center (8400円/年)
 https://developer.apple.com/jp/programs/ios/
- Google Play Developer Console (\$25) http://market.android.com/publish/



開発の流れ





開発環境とテスト端末

- ▶ iOS
 - → 開発環境: Mac OS X
 - → テスト端末: iPhone, iPad, iPod touch
- Android
 - ADT (Android Developer Tools)
 - → 開発環境: Windows, Mac OS X, Linux NDK (Native Development Kit)
 - → 開発環境: gcc 環境(WindowsはCygwin)
 - → テスト端末: Google Nexus, Sony Xperia, SAMSUNG GALAXY 等々…



アプリ アップロード

- ▶ アプリの総容量制限に要注意
 - ▶ iOS は2GBまで、50MB未満は3G回線可
 - ▶ Android は 50MBまで(APK Expansion Filesで回避可能)
 - 圧縮技術は重要
- ▶ アイコン、スクリーンショット、文言などの規約は要確認
 - 公式文書も最新の文書かの確認が必要
- ▶ iOSのGameCenterなどのソーシャル機能も要テスト



アプリ販売

- ▶ 販売する国の決定
 - ▶ グローバル展開するなら英語は必須?
- ▶価格の決定
 - ▶ 無料か?有料か?アプリ内課金か?
 - ▶ 手数料30%
- ▶宣伝
 - プレスリリース、Twitter、Facebookはもはや最低限項目



その他...

- ▶ Appleの審査に引っかかりやすい点
 - 公式文書の活用
 - ▶ 個人ブログに書かれた内容は要注意
- トプログラミング言語の選択
 - ・ ネイティブ: iOS=Objective-C, Android=Java
 - ▶ その他: C++, HTML と JavaScript, C#…
- 複数端末の対応手法
 - ▶ 複数解像度への対応は予め計画しておく
- ▶ 競合アプリの調査

実践編の宣伝

- アプリ開発セミナー
 - 弊社会議室やご希望の場所で開発に必要な技術を塾形式でお教えします。
- パーソナル/チームトレーニング
 - ▶ 集中的に目標アプリの開発をサポート
- レベニューシェアでのアプリ販売
 - 弊社でのアプリ販売により、登録料、プレスリリース費、ユーザーサポートの手間を削減



ご意見をお聞かせください

今回のセミナーの内容は参考になったでしょうか?

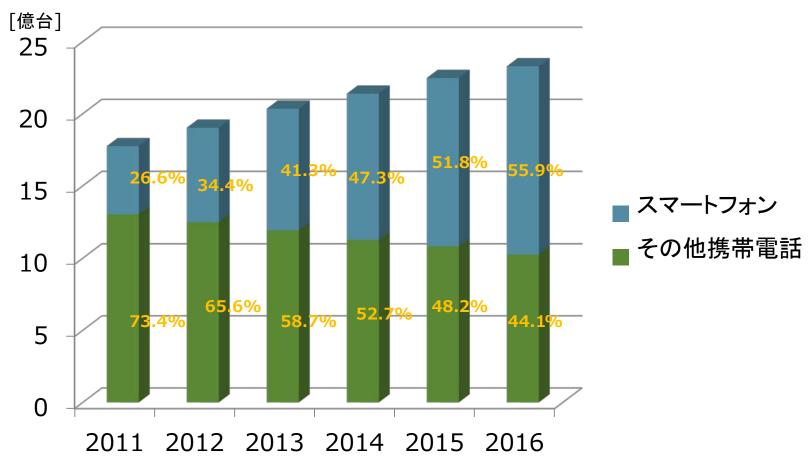
また、今後もっと進んだ内容のセミナーやトレーニングに興味を持たれましたか?

ご意見をお聞かせください。

seminar-contact-jp@altoterras.co.jp

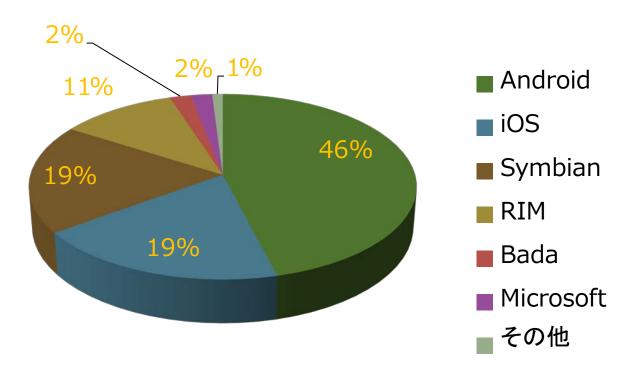


資料 (1)



世界の携帯電話販売台数に占めるスマートフォンの販売台数の推移(推計) 平成24年版 情報通信白書より

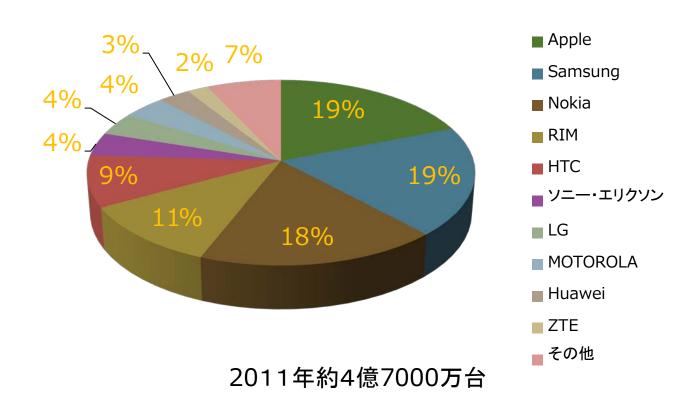
資料 (2)



2011年計約4億7000万台

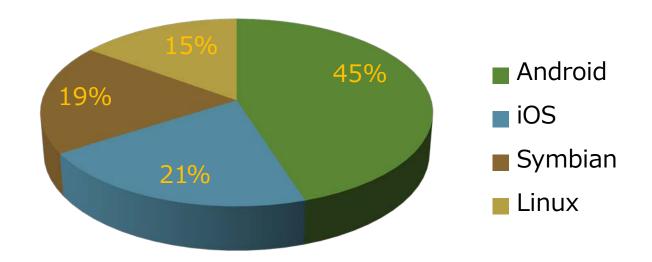
世界の2011年スマートフォンOSシェア

資料 (3)



世界の2011年スマートフォンメーカーシェア

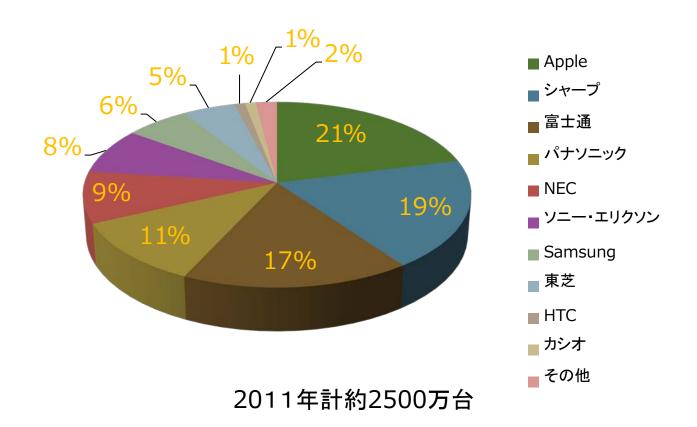
資料 (4)



2011年計約2500万台

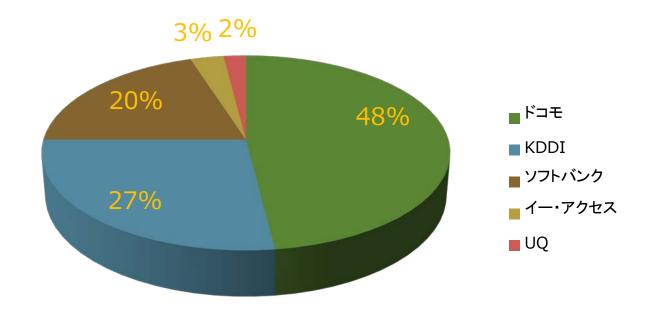
日本の2011年スマートフォンOSシェア

資料 (5)



日本の2011年スマートフォンメーカーシェア

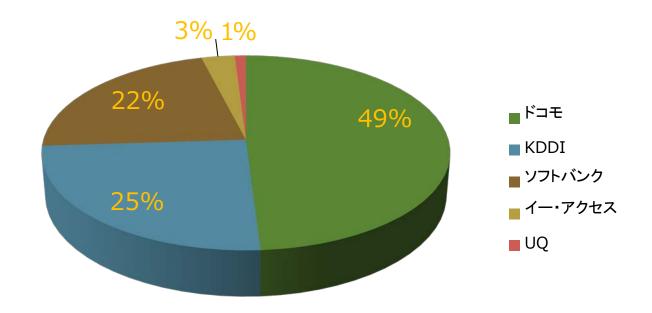
資料 (6)



2011年計約1122万台

日本の2011年データ通信契約者数シェア 平成24年版 情報通信白書より

資料 (7)



2011年第3四半期計約9551億円

日本の2011年データ通信売上シェア 平成24年版 情報通信白書より

資料 (8)

